



栃木県では2021年までの30年間に農業気象災害が313回発生し、その被害総額は約949億円です。気候変動により増加している農業気象災害への対応力を強化するためには、農業者への迅速で効果的な情報伝達が不可欠です。県農政部では、被害の未然防止対策の着実な実施を促すため、新たに「栃木県農業防災LINE」を開設しました。

農業気象災害が増加!

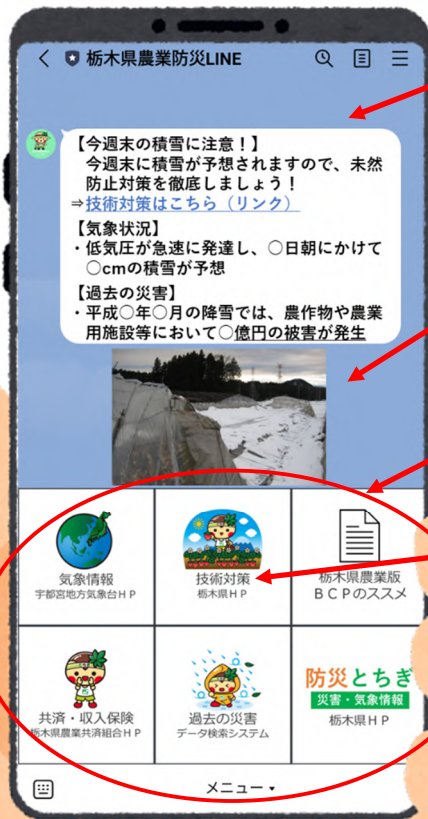
最近10年間(2012~2021年)の状況は、その前の10年間(2002~2011年)と比較して発生回数は約1.4倍、被害額は約4.9倍に増加しています。台風、降雪、降霜・低温において、1災害あたりの被害額が大きく増加しているという特徴があります。

農業経営の安定に向け、深刻化する気候変動の影響に適応していくことがとても重要になっています。

気象災害の種類	被害額増加率	
	総額	1災害あたり
災害全体	4.9倍	3.5倍
台風	9.0倍	9.0倍
降雪	136.4倍	51.1倍
降霜・低温(春)	21.3倍	6.1倍
その他(大雨・突風・降雪など)	1.5倍	1.1倍

(統計は農業気象災害データベースによる)

農業者の皆様に 気候変動への適応に必要な情報をお届けします!



配信画面イメージ

台風、高温、降雪、低温など、気象台から気象警報・注意等が発表され、農業気象災害の発生が予想される場合等に、気象情報や気象災害を防ぐための技術対策(事前・事後)等を通知します。

「画像や動画」を活用することで、わかりやすい情報になり、効果的な技術対策の実施につながります。

災害時に役立つ情報をLINEの画面下部に常時表示しています。(気象情報・技術対策・収入保険等)

技術対策では幅広い内容が紹介されています。いざという時のために、あらかじめ最新の技術対策を確認しておくことができます。

QRコードもしくはIDから
友だち登録を!



LINE ID

@756bxcgu



問合せは 県 農政課 農政戦略推進室 まで
☎ 028-623-2284

栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP



X
(旧 Twitter)